

STOP! 車内犯罪!

本部申28号

鉄道における安全確立に向けた緊急申し入れ

2018年6月9日。東海道新幹線「のぞみ265号」車内で、刃物を所持した暴漢によって乗客が切りつけられ、3名が死傷する大変痛ましい事件が発生しました。新幹線車内では過去にも暴力行為や、車内放火などの事象が発生しており、「車内安全の確保」は大きな課題でありました。

車内安全を守る為、政策フォーラムで提言!

2017盛岡地本政策フォーラムでは、この問題に対し盛岡新幹線運輸区分会が「新幹線車内の乗務員と旅客の安全に向けて」と題して提言しました。具体的には車内秩序を守る為に「全列車車掌2人乗務」の必要性を訴え、本部政策フォーラムでも提言発表しました。「2019年ラグビーワールドカップ」「2020年東京オリンピック」を控え、現場では「乗務員1人で10両の乗客全員の安全確保は難しい」という声が多く出されています。具体的な対策を職場から練り上げ、鉄道の安全輸送を創り出そう!



＜2017 本部政策フォーラム発表資料＞

「新幹線車内の乗務員と旅客の安全に向けて」

盛岡支部 盛岡新幹線運輸区分会



東日本旅客鉄道労働組合 盛岡地方本部



提言

東日本管内の新幹線全線へ車掌を2人乗務とする。



①女性車掌が感じる車掌業務の不安



- ・飲み会シーズンの酔客や不要な人などが車内に居た事がある事があった。
- ・男女問わずに酔客対応に苦慮したことがあった。
- ・酔客に話しが通じずに居る人が居ない空間でどうしたら良いかわからなかった。

職場の組合員からアンケートを行い、提言を作成!

【申し入れ内容】

1. 鉄道施設、鉄道車内におけるトラブルや犯罪発生を未然に防ぐ対策を行うこと。

安全輸送を守る為には、職場から声を挙げる事が必要だ! 安全風土を創り出す取り組みを東労組がけん引しよう!